「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	BEMS/FEMS の導入	シート番号	A32031
システム・設備	エネルギー管理設備	6 類型	設備導入
削減余地順位	全体：32 位　産業部門：34 位　業務部門：32 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	58 飲食料品小売業	76 飲食店	83 医療業	85 社会保険等の事業	80 娯楽業
削減余地 [千 t-CO_2]	936	213	722	247	90	85	76	48
診断件数	3,303	1,216	2,087	102	46	179	484	129
診断時提案数	176	80	96	6	3	1	34	4
診断時提案率	5[%]	7[%]	5[%]	6[%]	7[%]	1[%]	7[%]	3[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	58 飲食料品小売業	76 飲食店	83 医療業	85 社会保険等の事業	80 娯楽業
事業報告書提案数	157	71	86	6	3	1	30	3
事業報告書実施数	17	11	6	1	0	0	3	0
事業報告書実施率	11[%]	15[%]	7[%]	17[%]	0[%]	0[%]	10[%]	0[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	58.0	10.5	0.80	17.3
	導入コスト	[千円]	7,500	3,790	896	3,669
	運転コスト削減	[千円/年]	1,936.1	426.0	61.5	614.0
	投資回収年数	[年]	47.3	7.8	1.3	13.3
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	4.9	2.0	0.180	2.1

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	2	「補助金を活用できたため」が最も多く「省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため」がそれに次ぐ。
	補助金を活用できたため	6	
	投資回収年数が短いため	0	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	3	
	その他　（無回答を含まず）	2	
未実施理由	初期費用が高かったため	31	「初期費用が高かったため」が未実施理由の半分を占める。
	提案された設備の機能や運用に懸念	6	
	補助金を活用できなかったため	0	
	投資回収年数が長かったため	3	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	6	
	既存設備がまだ使えたため	2	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	3	
	その他　（無回答を含まず）	8	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	21031	LED 照明の導入	
2	26031	高効率冷凍・冷蔵設備の導入	

※ 特記事項

実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量の最大例は、BEMS を導入して快適性を損なわずに空調機の断続運転を行うことを提案したもの。本事例は投資回収年数の最小例および運転コスト削減の最大例でもある。

(2) 事業所 CO_2 削減割合の最大例も、BEMS を導入して快適性を損なわずに空調機の断続運転を行うことを提案したもの。